

事業番号	06 04 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	水道・生活排水対策事業	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課		
		実施期間	S55 ～	E-mail	seikatsuhaisui @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・水道事業における管路耐震化事業の達成率 38.1%（R5）、污水处理人口普及率 98.3%（R5）
・「長野県水道ビジョン」「長野県生活排水処理構想（2022改定版）」に基づき、水道及び生活排水処理事業において施設の計画的な改築更新や耐震化、基盤強化に向けた広域化を進める必要がある。併せて、生活排水処理施設については未普及地域の早期解消に取り組む必要がある。

2 事業目的

将来にわたり持続可能な水道水の供給及び生活排水の処理を実現する。
快適な生活環境と良好な水質保全を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①水道施設の整備の促進
事業に対する指導とともに国に対する要望活動の実施
②老朽化施設の改築更新（農業集落排水）
適切な污水处理機能維持のため、ライフサイクルコストの低減を意識した施設・管渠の改築更新
③生活排水処理施設未普及地域の縮減（合併処理浄化槽）
中山間地域など下水道、農業集落排水等による整備が予定されていない地域において、合併処理浄化槽の設置者に補助を行う市町村を補助
④上下水道事業基盤強化の計画的な推進
基盤強化に向けた広域化や耐震化を進めるにあたり、アドバイザーによる講習、専門的知見からの指導・助言等を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	水道事業における管路耐震化事業の達成率（R3～R7）	%	38.1	52.9	↗	74.1	↗	100.0	未達成 長野県生活基盤施設耐震化等事業計画において5年以内に実施する管路耐震化事業の達成率を100%にすることが目標であるため、5年目である令和7年度は100%を目標とする。
②③	指標なし								
④-1	（参考指標） 上水道・用水供給における 基幹管路の耐震化適合率	%	39.7 R4年度	40.2 R5年度	↗	42.3 R6年度	↗	—	
④-2	（参考指標） 下水道における 基幹管路の耐震化率	%	49.9 R4年度	50.7 R5年度	↗	51.5 R6年度	↗	—	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	水道の広域連携を実施する圏域数	圏域	2023 (R5)	0	2024 (R6)	0	2025 (R7)	0	2027 (R9)	9
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	污水处理人口普及率	%	2023 (R5)	98.3	2024 (R6)	98.4	2025 (R7)	98.5	2027 (R9)	98.6

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	46,094	504,455	△ 76,946	473,603	109,964	369,565	10.0
R6年度	121,165	531,134	△ 147,769	504,530	129,516	435,524	10.0
R5年度	181,687	497,761	△ 53,541	625,907	129,828	449,048	10.0

事業番号	06 04 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道・生活排水対策事業			部局	環境部	課・室	水道・生活排水課		

7 主な取組実績と成果

①水道施設の整備の促進

水道施設の耐震化等水道整備事業に対し助成や助言・指導を実施し、運営基盤の強化を図った。

②老朽化施設の改築更新（農業集落排水）

市町村が運営する農業集落排水施設・管渠の改築更新に対して補助を実施し、適切な污水处理機能の維持及びライフサイクルコストの低減を図った。

③生活排水処理施設未普及地域の縮減（合併処理浄化槽）

合併処理浄化槽の設置者に補助を行う市町村に対して補助を実施し、中山間地域など下水道、農業集落排水等による整備が予定されていない未普及地域の縮減を図った。

④上下水道事業基盤強化の計画的な推進

各圏域ごとの広域連携推進方針に基づき、「広域連携検討の場（構成：市町村等水道事業者・県）」において具体的な広域連携の内容や進め方について協議を行った。この結果、各圏域で共同化を検討する事務の選定が行われ、可能なものから順次共同化を実施することとなった。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	水道事業における管路耐震化事業の達成率（R3～R7）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
資材単価及び労務費の高騰により、計画していた延長の整備ができなかったため。また、工事発注及び着手に際して不測の期間を要し、年度内に整備完了できなかったため。							
指標 ④-1	（参考指標）上水道・用水供給における基幹管路の耐震化適合率	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	／
各水道事業者が基幹管路の耐震適合管への布設替え等に着実に取り組み、耐震化適合率が向上している。							
指標 ④-2	（参考指標）下水道における基幹管路の耐震化率	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	／
能登半島地震を契機に策定した上下水道耐震化計画に基づく耐震化工事に取り組み、耐震化率が向上している。 また、老朽化が進む下水道施設のストックマネジメント計画による施設の更新も耐震化率の向上に寄与している。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・昨今の資材単価及び労務費の高騰を見込んだ予算の確保ができておらず、計画していた延長の整備ができていない。工事発注及び着手に際して不測の期間を要し、年度内に整備完了ができていない。

(2) 事業改善の方策

・各圏域で共同化を検討する事務について、担当者による作業部会を複数回開催し、共同化の実現につなげる。
・「長野県生活排水処理構想」に基づき、持続的な運営を図るため、コスト比較等による下水道への統廃合を検討しつつ、計画的な改築更新を推進していく。
・中山間地域など下水道、農業集落排水施設等による整備が予定されていない地域において、早期に浄化槽の設置をするよう市町村に指導するほか、集合処理が適当でない下水道整備区域においては補助金の活用等による浄化槽整備を検討するよう市町村と連携して取り組む。

事業番号	06 04 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	水道・生活排水対策事業			部局	環境部	課・室	水道・生活排水課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	水道施設整備促進事業費		0 千円	511 千円	468 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	水道施設整備促進事業	直接	水道事業者に対する施設の整備、災害対応等の指導を行う。 指導件数 99件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	農業集落排水事業費		329,883 千円	316,920 千円	272,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農業集落排水施設等の改築、調査計画及び施設計画	補助金	改築（機能強化対策及び強靱化）：定率補助 調査計画の策定：定率補助 適正化計画等の策定：定額補助 改築：8市町11地区 調査計画・適正化計画等：4市町村4地区		
2	（一社）地域環境資源センター負担金	負担金	農業集落排水施設に関する技術開発、調査・研究を行っている（一社）地域環境資源センターへの負担金 負担金：90千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	浄化槽対策事業費		110,750 千円	98,208 千円	91,405 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	合併処理浄化槽整備事業補助金	補助金	中山間地等下水道、農業集落排水施設等による整備が予定されていない地域において、合併処理浄化槽の設置者に補助を行う市町村に対し補助を行う。 補助対象：47市町村、682基		
2	浄化槽台帳システム管理業務委託	委託	浄化槽台帳を整備・活用することにより、浄化槽の適正な維持管理について適切に指導等を行うため、設置情報、管理者、維持管理及び指導状況等の情報を入力管理する。 －		
3	浄化槽放流水水質検査委託	委託	浄化槽法第53条第2項の規定により実施する浄化槽の立入検査において、浄化槽の管理者に的確に改善指導等を行うため、浄化槽放流水の水質検査を実施する。 検体数：342検体		

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	上下水道計画総務費	8,415 千円	19,885 千円	5,054 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	次期生活排水処理構想原案作成 （検討委員会）	直接	次期生活排水処理構想の策定に当たり、関係機関や有識者による検討委員会を開催し、当該構想策定のための構想原案を作成する。 検討会開催回数：1回	
2	下水汚泥資源の肥料化の推進	直接	下水汚泥資源の肥料化を推進するため、汚泥肥料の有効性や安全性に係る試験を行う。 試験件数：成分分析 2件、植害試験 2件	
3	上下水道の基盤強化に向けたアドバイザー派遣事業	直接	上下水道の基盤強化に向けた検討を進めるにあたり、アドバイザーによる講習、専門的知見からの指導・助言等を実施する。 講習会等開催回数：1回	